



卒業証書授与式の様子

レガシー
「Legacy (遺産)」

学校長 喜多山 篤

本日の修了式をもって本校の令和元年度の教育活動が終了します。

何よりもこのたびの新型コロナウイルス感染症の対応により、全市的に2月末より臨時休校の措置となり、保護者の皆様はもとより、地域の皆様にも大変なご心配をおかけいたしました。新年度からは通常通り教育活動が進められるよう準備を進めているところです。

また、今月13日には、第22回卒業証書授与式を卒業生と教職員のみで挙げていただき、201名の卒業生が本校を巣立っていきました。保護者の皆様や地域の皆様方から温かい励ましのメッセージを賜り、改めてお礼申し上げます。

さて、今年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定され、本市においても幾つかの競技の開催が予定されています。予定通り開催されれば、本市にとっては、1972年の冬季オリンピック大会開催以来、およそ半世紀ぶりのオリンピック開催となります。

札幌オリンピック開催当時、私は市内の小学校1年生でしたが、冬の遊びはプラスチック製のミニスキーとボブスレーで公園の山から滑り降りる毎日で、手袋やヤッケがビショビショになるまで遊んでいた記憶があります。学校のグラウンドでは保護者や先生方の手によってスケートリンクが作られ、放課後や休日には子どもたちがスケートを楽しんでいました。振り返れば、当時の札幌には、子どもたちがそういった遊びを楽しめる環境があり、当時の札幌市民（大人）が「子どもたちのために、一生懸命環境を整えてくれたのだなあ」と改めて感じているところです。

Legacy（レガシー）とは過去の遺産を意味し、負の遺産と言った意味合いで使われることもありますが、近年では良い意味で表現されることも増えてきました。

1972年の冬季オリンピック大会で地下鉄や地下街といった札幌の都市整備の基盤が出来上がり、オリンピックのレガシーとして今も札幌市の大切な都市機能となっていますが、その時に子ども世代を送った私たち自身もオリンピックのレガシーなのかもしれないと感じることがあります。

子どもたちが、自らの資質や能力を伸ばしていくうえで教育環境は非常に重要です。まずは適切に指導して下さる指導者、その次に道具や施設設備、そして、子どもたちが思う存分に遊んだり部活動に励んだり、自分を表現したりすることができる精神的な支え（保護者や地域、観客の温かく惜しみない声援）が最も大切な教育環境なのだと思います。

学校と保護者や地域の皆様が一体となり、高い意識で子どもを育て、教育に相応しい環境を整えているこの地域だからこそ、子どもは健全に、そして、秘めたる素質を伸ばし成長していくものと確信をしています。

今後とも本校の教育活動にご理解とご協力、そして、子どもたちのために温かいご声援を賜りますようお願いいたします。

離任・退職される先生方・職員の方からのご挨拶

この3月をもって厚別北中学校を離任される先生方・職員の方からのご挨拶を紹介いたします。

校長 喜多山 篤

2年間という短い間でしたが、この間には胆振東部地震や感染症の影響で休校しなければならぬ事態を経験し、その都度、保護者、地域の皆様の御理解と御協力に支えられました。このような温かい地域でお仕事をさせていただくことができましたことに心より感謝を申し上げます。今後も、厚別北中学校の子どもたちの健やかな成長を願っております。

主幹教諭・社会科 佐藤 元基

明るくきれいな校舎。緑豊かな自然。窓から見える記念塔。
放課後には、部活動生徒の熱気があふれる体育館やグラウンド、テニスコート。
生徒に恵まれ、保護者並びに地域の皆様方に支えられながら充実した日々を過ごすことができました。
「TPO」と「合唱」という、学校の軸を大切に厚北がさらなる発展を遂げることを願っています。お世話になりました。ありがとうございました。

国語科 成田 裕子

校歌の3番の歌詞が大好きです。とくに「からだを鍛え 世界をめざし」の部分が。中学校での学びの先に「世界」を見据えている校歌に初めて出会ったからです。
厚別北中学校のみなさん、それぞれの世界を目指してください。7年間、お世話になりました。これからもお元気で。

社会科 成田 実由

1年間ここにいることが出来たのは、生徒の皆様と保護者の皆様のご支援あつてのことでした。
生徒の皆様のご卒業まで見届けられないことが心残りですが、この一年が糧となり人生の内で何らかの形で役立てていただけたら幸いです。一年間本当にありがとうございました。

理科 小澤 宜史

学校生活や部活動を通して、生徒たちがよりよい学校生活を送り、成長して次の進路へすすめるようにと力を尽くしてきたつもりですが、今思えば私自身も多くの事を学び、鍛えられていたように感じております。8年間にわたり、御理解と御協力をいただきありがとうございました。これからも厚別北中学校をよろしくお願いたします。

英語科 佐久間 誠一郎

「流れる水は腐らない」といいます。慣れた中学校の仕事を定年まであと3年続けるのは簡単なことですが、さらなる刺激を求めて私は新たな世界へ飛び立ちます。若い皆さんも、自分の力を試すために、常に新しいことにチャレンジしてほしいと思います。Thank you for everything!



4月 第22回入学式



5月 2学年宿泊学習



6月 中体連壮行会

英語科 涌井 裕子

8年の長きにわたり、素直で前向きな生徒達と過ごすことができ、幸せな毎日を過ごさせていただきました。厚別北中学校の伝統を開校から受け継ぎ、TPOを考え判断する力を育み、学校祭や合唱コンクールでの自主的な取組と協力し合う姿、さかんな部活動を通して日々成長する姿に感心し、沢山のエネルギーをもらいました。

卒業生を含めた生徒の皆さん、ご支援くださった保護者の皆様、温かく見守ってくださった地域の方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

7組 山口 雄

6年間、素晴らしい同僚、保護者や地域の皆様、そして何よりも素敵な生徒たちに囲まれながら勤めることができました。7組開級から今日まで、この学校で学んだたくさんの方のことを、今後の教師生活に生かしていきたいと思えます。厚別北中学校の益々の発展を祈念しております。今までありがとうございました。



7組 山本 彩加

明るく元気な生徒の皆さんと一緒に毎日を過ごすことができ、とても充実した1年間でした。保護者の皆様方、地域の皆様方にも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

厚別北中学校の教員であったことを誇りに、次の勤務地でさらに頑張っていきたいと思えます。厚別北中学校の今後のさらなる発展を、心からお祈りしています。

校務助手 小川 誠子

学校徴収金を通じて保護者の皆様にはいつも温かいご支援とご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。

至らない点もたくさんありましたが、明るく素直な生徒達、優しい保護者の方々、そして職員の皆様を支えられながら、楽しく過ごす事ができました。

5年間本当にお世話になりました。

用務員 前原 稔

1年間の短い期間でしたが、73歳のこの年齢まで風邪ひとつ引かず、元気に仕事に励めました。生徒さんの笑顔に力を頂いたと感謝の気持ちいっぱい仕事を終えることができます。ありがとうございました。皆さんこれからも健康で明るい学校生活を送って下さい。

用務員 佐藤 正幸

1年間ではありましたが、いつも元気な生徒の皆さんと過ごすことができ、本当に良かったと思っております。保護者及び教職員の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



9月 第22回学校祭



11月 第22回合唱コンクール



11月 文化交流会

第 22 回卒業証書授与式の御礼

3月13日(金)に、第22回卒業証書授与式が執り行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生と本校教職員のみでの挙行となりましたが、多くの保護者の方や地域の方の支えと励ましのおかげで、201名の生徒が本校を巣立っていきました。保護者の皆様におかれましては、今回の卒業証書授与式に際しまして、多大なる御理解と御協力を賜りました。ありがとうございました。



2020年度 始業式は4月6日(月)です

- ◆ 4時間授業の予定です。登校時間は通常と変わりません(8:30までの登校です)。
- ◆ 下校時刻は12:20を予定しています(給食はありません)。
- ◆ 登校したら…【新2年生】 □教室は「3Fの教室に旧学級ごと」に入ります。
□外靴を袋に入れて教室に持っていきます。
- 【新3年生】 □教室は「2Fの各学級」に入ります。
□外靴を袋に入れて教室に持っていきます。



※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施日程等が変更になる場合がございます。随時学校ホームページでお知らせしますので、御確認をお願いします。

指導方法工夫改善加配 = TT (チームティーチング) などの取組について

本校では、生徒の学力などの向上のために1学級に2人の教師が担当する授業を行っています。今年度は全学年の数学の授業を中心に実施していました。「指導方法工夫改善加配」と言いますが、通常、「TT(チームティーチング)」と呼んでいます。必ずしも該当教科の教師が行けるとは限りません。しかし、苦手な生徒達に付いたり、学力に応じた対応をしたりしています。

来年度も引き続き、チームティーチングを実施する予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

公立高等学校入学者選抜における改善について(北海道教育庁からの通知)

令和3年度道立高等学校入学者選抜(令和3年3月実施)から、学力検査当日を次の事由により受検できなかった生徒について、追検査を行う旨の通知がありました。これに伴い、札幌市立高等学校における入学者選抜においても同様の対応をとることとなりました。なお、追検査の具体的な内容については、令和2年9月に決定予定の入学者選抜要項において定められることとなります。

- (1) インフルエンザ等、学校保健安全法第19条で出席停止の扱いが定められている感染症により、本検査を受検できない者
- (2) その他やむを得ない事情により、本検査を受検できない者